

オンライン辞書作成に関わって

夫 明美

2015 年も折り返し地点を過ぎようとしています。日常会話でも、「もう半年終わるねんなあ、早いなあ」、「何にもしてないわあ」という言葉が聞かれます。私自身は何をしたか、と振り返り、本稿では 2 年ほど前から関わっているオンライン辞書の内容を簡単にご紹介したいと思います。

国立国語研究所のプロジェクトの一環で「基本動詞ハンドブック」という、日本語の基本動詞に特化したオンライン型の辞書があります。日本語学習者、日本語教師の日本語基本動詞の理解を目的とする本辞書の特徴は、以下の数点にあります。

1. 動詞がもつ多義性について、「中心的な意味」から「派生的な意味」を多角的に、事例を交えて紹介すること
2. またその意味の広がりについて認知言語学的観点から解説を加えること
3. 図解や音声を使用し、例文を豊富に用意する。例文は、他プロジェクト（「現代日本語書き言葉均衡コーパス」「筑波ウェブコーパス」）からの用例を積極的に活用し、生きた情報提供をすること

例えば、初回会合の合宿では約 20 名のプロジェクト参加者が「走る」という動詞の多義性についてマル一日議論しました。事前の宿題として、「走る」の語義を整理することが課され、それ自体が非常にチャレンジングな課題でしたが、自分の第一言語に向き合い、ルール化を試みる有意義な時間でした。実際の議論では、皆のアイデアを共有しながら一番中心的な意味「人間や動物が足を素早く動かして地面を移動する」という物理的な運動から、「ペンが走る」に見られる「スムーズな動き」への発展にはどのような基盤があるのか、をかなり整理出来たように思います。私にとっては非常にワクワクする時間でしたが、帰宅して家族に話すと「言語好きのお祭りやね」と若干冷やかな反応を得ました。

現在は自分が担当する動詞項目について執筆を続けながら、新しい試みとして、「例文理解を深めるイラストを付加するため」のサブプロジェクトに参加しています。本稿の読者の皆さんは英語をご専門とする方々かと思いますが、おそらく第一言語は筆者と共通の方々も多いかと思われますので、お時間のある時にご覧いただいて、ご意見ご感想などをいただければ、今後のプロジェクトに活かしていきたいと思えます。

参考ウェブサイト

基本動詞ハンドブック <http://verbhandbook.ninjal.ac.jp/>

現代日本語書き言葉均衡コーパス http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/

国立国語研究所 <http://www.ninjal.ac.jp/>

筑波ウェブコーパス <http://nlt.tsukuba.lagoinst.info/>

(ふ・あけみ/本学准教授)
